

埼玉連だより

平成 30 年 5 月 31 日

第
61号

★発行事務局 〒359-0026 所沢市牛沼 250-19 (本橋民夫方) TEL・04-2995-3839

埼玉県弓道連盟総務委員会

埼玉県弓道連盟

平成 30 年度に向かって

会長 本橋民夫

平成 30 年度から、いよいよ公認資格認定制度による各種事業が開始されました。

概要については、前号で紹介した通りですが、具体的な準備といたしましては、共通の講習会の他に各委員会において以下のように研修会等を行い、各委員の技量向上に努めております。

審査委員会に於いては、全弓連の「審査規定」及び「審査統一基準」に基づく審査を行うのは当然ですが、基準があっても人間の見方には少しずつ相違があるものです。従いまして、各審査会終了後受審者の評価について意見交換を行い、各人の審査眼の相違を無くすように心掛けています。つまり、票数が割れた者に対してはどのような点を良しとして合格点を出したか、どのような点を見て合格としなかったか、という意見を出し合い、それに対する意見交換を行っております。そうすることによって、偏った見方というものは無くなり、審査眼の大きな差異もなくなって、審査の公平性が維持されるものと思います。

指導委員会に於いては、中央計画の「講師研修会」、「中央研修会」に参加した者から成果報告を受け、指導員に対してその内容を徹底しました。そして、中央の考え方と違った指導を行わないようにするとともに、講師によって指導内容が異なることが無く、誰が講師を務めても、同じような講習会ができるよう努めました。

競技委員会に於いては、全弓連の「競技規則」及び「競技運営要領」に係る勉強会を開催するとともに、各人の抱えている疑問点等を開示して相互の意見交換を行い、委員間の意思統一を図りました。

上記の準備の下に、公認資格認定制度に則っ

て県連事業を 4 月からスタートしました。この制度は今年度が初めてのことであり、実施するにつれて疑問点、要改善点等が発生するかも知れませんが、全弓連との連携を図りつつ、各委員及び会員の皆様のお知恵を拝借して解決していきたいと思っております。

皆様のご協力をお願い致します。

さて、話は変わりますが、ある雑誌に次のようなことが記載されていましたので、紹介させていただきます。

『人は、とかく現象に目をとられがちです。例えば、一本の樹木を眺める時に、何を見て愛でるかと言えば、その殆どが枝の先の現象です。春がやってきて芽が吹いたと喜び、夏の間その葉が大きく広がる姿に自然の大いなる命の力を感じ、秋になればその葉の色が変わり散っていく姿に無常を感じるといったことです。また、枝の先にできた蕾から花が開くとそれが美しいと愛で、その花の後に果実がなれば、またその豊かな実りを喜ぶのです。これらの多くは、枝の先で起きることです。

一方、この枝葉を支えている幹が見事なものだと褒め称える人はめったにおりませんし、その幹を支えている根が素晴らしいと語る人はあまりおりません。根は目に見えないので褒めようがないのかもしれませんが。

しかし、命の本質としては、枝の先の現象よりは、幹や根の方がずっと大切なものではないでしょうか。枝の 1 本や 2 本折れたからと言って樹が枯れてしまう訳ではありませんが、幹や根がその機能を果たさなくなれば、その樹は生き続けることはできません。

枝葉末節にこだわることなく、根本的に考察する。その現象の奥に潜んでいる目に見えない本質にこそ重視して対処しなければならない。』

弓道についても、同じことが言えると思います。「射は会から離れ」というような気持になって手先の技巧に走り、的中にのみ心を奪われてしまうと、今は的中していても、長くは続かないと思います。一方、当然行うべき前後の気構えや体の構えを確実にいき、即ち、足踏み、胴

造り、――と弓道八節を基本通りに行っていれば、今は的中が覚束なくても、将来的には見る者の心を打つしっかりした射になるものと思います。

見えない所、目立たないところを軽視することなく、やるべきことをしっかりと行う。人生においても、弓道においても、物事の本質を見極めることが大切だと思います。

小宮栄子先生を悼む

小宮栄子先生を偲んで

範士 松沢 岳

このたび、本連盟の小宮栄子先生が亡くなりましたが、まだまだ75歳、年齢的にも指導講師として十分に活躍できる余裕があるところですが、病に侵され誠に残念の極みです。

先生のお生まれは熊谷市の郊外にあり、小学校時代の同級生によると頭の切れも良くタフな人物であったようでした。地元の熊谷女子高校に昭和33年入学し、遠路のため自転車通学とのこと。

同校の弓道部は昭和6年に発足し5人立ちの道場で、会員50名程度で活躍していたが、空襲により焼失し廃部になっていた。そこで彼女たちが熱心に弓道部復活交渉をおこなった結果、昭和34年に部が復活し早々入部している。これは彼女の叔父である教士・増田巻二先生(東京第一所属、昭和35年第11回天皇杯全日本男子弓道選手権大会で優勝)の存在が大きく影響したと思われます。

復活当時の弓道部は道場もなく屋外で巻藁練習する程度で、的前練習は地元弓道会の射場を借り、弓道会会長の教士・内田喜一先生はじめ、ほかの弓道先生の指導を受け練習を行っていた。私も日曜に道場で彼女に会う機会があり、弓力を聞くと「17キロ」との事。

「強すぎないか」と問うと「これしかありません」と答えていたことを覚えている。彼女の上達の



早さには驚くばかりで、県の高校大会や近隣の射会でも素晴らしい成績を上げていた。

彼女は高校を卒業した後、浦和で就職し、自宅から熊谷駅までバイクを利用していた。しばらくして森戸道場で修練に励むようになり帰宅は9時ごろとのことだった。私も昭和36年から2年半ほど森戸道場と道を挟んでお向かいの会社に転勤になり、早速に森戸道場に通いました。昭和39年の新潟国体では彼女と一緒に選手として参加した思い出があります。

森戸先生が亡くなった後、彼女は県立武道館に移りましたが手抜きなしの修行は皆様もご承知のとおりで本連盟の躍進に大いに貢献されました。

謹んでご冥福をご祈念
申し上げます。





感謝

葬儀に参列された皆様に配られた絵手紙

小宮栄子先生は、3月17日急逝されました。

先生は、昭和34年熊谷女子高校で弓道を始められ、すぐに頭角を現され高校生の時から幾多の輝かしい成績を修められました。社会人になってからも国民体育大会、全日本女子弓道大会での上位入

賞等全国レベルでの大会においても、常に目覚ましい成績を残されました。その結果、54歳で八段を認許され、56歳で範士に推挙されました。

現役を退かれた後は、豊富な知識と経験により高校・大学の弓道部師範として後輩の育成に尽力するとともに、国民体育大会の監督として競技力向上に貢献し、多くの優秀選手を輩出した功績は大なるものがあります。また、長年に亘って埼玉県弓道連盟の指導の中核となって活躍されました。埼玉弓連の称号受有者の数が全国でも1位2位を争うまでになったのも小宮先生のご尽力によるところが大であると思います。

また、全日本弓道連盟の中央講師、審査員として全国を飛び回り、海外にもお出かけになって、弓道の普及及び質的向上にも貢献されました。これらの功績が認められて、平成29年10月には文部科学大臣から「生涯スポーツ功労賞」を受賞されました。

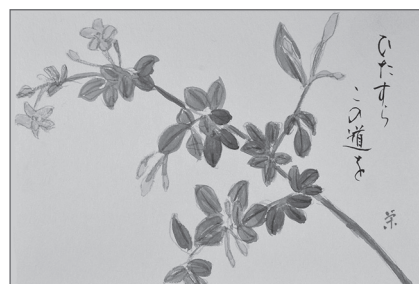
この度の小宮先生のご逝去は、全日本弓道連盟としても大きな損失だと思いますが、埼玉県弓道連盟としても大きな打撃であり、多方面に亘っての損失は計り知れません。

今後は、小宮先生のご意思を受け継いで埼玉県弓道連盟が一丸となって連盟の発展に尽くして行かなければならないと思います。

ここに謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

先生と最後にお会いしたのは、今年の1月7日、県連初射会でした。お話ししたのもその時が最後になりました。その後も迷った時困った時はメールで相談していましたが、先生は体調が優れないとは一度もおっしゃいませんでした、ただ「体力がない」と……。

私が弓道を始めたのは、昭和45年旧武道館弓道教室です。先生のいらした道場でした。先生は、仕事・主婦・育児・弓道すべてを完璧にこなし、参加した国体では必ず表彰状を持ち帰りました。私もご一緒した3回の国体で優勝・準優勝・3位と良い成績を残すことができましたが、チームに先生がいないと本大会に出場することもできませんでした。私が先生とご一緒に初めて出場した昭和48年5月沖縄復帰記念国体の時、先生のご長男は2歳でした。ご家族の協力と理解、先生の弓道に対する情熱がすべてを乗り越える力になっていました。



平成5年に半月板を損傷した時も気力と努力で乗り越えました。普通なら歩くのも難し

い大怪我でしたが、厳しいリハビリに耐えて弓道場に戻っていらっしゃいました。沼田の病院に入院して頑張りましたね！先生をお迎えに行き、帰りに温泉に入った日が昨日のように思い出されます。

立射の釋さばきを考えましようとなった時、私には何もアイデアが浮かびませんでした。先生は釋のはじを輪にして親指にかけることを考えつかれました。私は先生の発想の豊かさ、頭の柔軟さに驚きました。今でこそ皆が自然に行っていますが、今まで誰もしていない事を始める事には、とても勇気が必要です。新しい未知の世界に飛び込むのですから……。まだ副読本は発行されてませんがいつの日か実現されると信じています。今、坐射で弓を引くのが難しい人が増えています。そんな時代にあっても全ての人が同じ様に同時に同じ事が出来る日が近いうちにきます。先生!! 待っていて下さい!



先生はご自身が病で大変な時もまわりを励ましてくださいました。

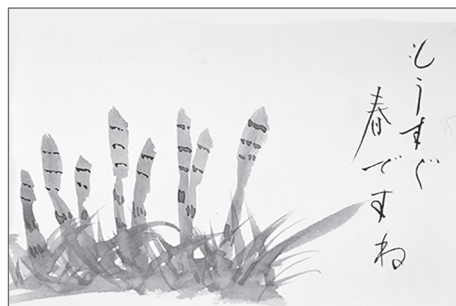
「頑張ろうね!!」

「自立して自分の道を歩いて下さい。見守っていますよ!」

「病のいろんな戦い方が、人それぞれに違うようですが、私は病が見つかる前に、動かないからだで、無理に動き過ぎました。神様が助けたいのか?もういいよ!と言うのか?でも頑張っていますよ!!」

「しっかり気を引き締めて、京都目指して下さいね!」

気配りの出来る素晴らしい先生でした。感謝しています。



小宮先生が趣味とされていた絵手紙。ご遺族様のご厚意により一部を掲載させていただきました。編集部より

以下は本橋会長に3月の大宮公園錬成会で皆さんに伝えてくださいと、送られたメールです。原文のまま皆さんにお伝えします。

『錬成会に来てくださったみなさんへ

長い年月を支えて下さり、感謝しています。可愛い私の弓の仲間であり、大切な子供と大事に思っ接してきました。

皆さんが弓を愛し、道場を愛し、仲間と楽しく弓を引く姿は私の宝物です。

決して忘れません。

しっかり空から見守ってますよ!

私は、弓は力(段位や役職)で引くものではなく、心で引くものと思っています。

教本の教えの「審固満分」をしっかり心にとめて悔いなく弓人生を楽しんで下さい。

これは、もう直ぐメールも打てなくなりますから、頼んでおきます。

新しい年度に私は居ません。

本橋会長と後をよろしく願います。

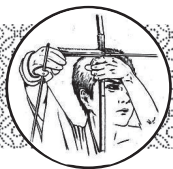
みなさんありがとうございました。』

先生の弓道に対する真っ直ぐな姿勢、隙のない構え、優しいお気持ちが伝わる文章です。お心づかいがひしひしと響いてきます。どんな時でも励ましてくださり、全てに気がつく先生でした。

先生 本当にありがとうございました。少しでも先生の域に近づくことができるよう精進してまいります。

先生の「元気な姿を覚えてほしい」というお言葉を忘れることはできません。私たちの胸には、お元気な小宮先生のお姿がいつまでも残っています。

合掌



専門委員会だより

総務委員会

総務委員会の業務

副委員長 千葉 公

平成 30 年度が始まりました。今回は総務委員会の年間の業務を紹介いたします。

総務委員会は年 3 回開催します。開会の際に、会長や理事長が挨拶される中に、他の委員会で扱わない業務を扱う委員会ですという言葉があります。総務委員会の業務を象徴している言葉と思います。

年間を通じ総務委員会の主な業務ですが、以下の四点になります。

1. 会員名簿の管理

- ・会員名簿の発行
- ・業務用名簿の発行 (埼玉連の役員が業務遂行するために使用する名簿です)

埼玉連内には理事長所轄の IT 事務所があります。名簿発行の際には、総務委員会と連携して対応します。昨年度は業務用会員名簿を発行しました。

因みに、IT 事務所は県内審査の名簿管理も審査委員会と連携して対応しております。

2. 会則・規程等の管理

- ・業務提要の維持管理
- 現在埼玉連には、会則の趣旨に沿った各種規程が存在します。時代の要請に合わせて絶えず見直しを続けております。

昨年度は、旅費規程を改訂しました。

3. 広報機能

- ・埼玉連だよりの発行
- ・埼玉連ホームページの維持管理

埼玉連だよりは今号で 61 号を数えます。ここ数年は A4 サイズ 20 ページ立てになっておりますが、創刊の頃は B5 サイズの 6 ページ立てでした。

埼玉連ホームページは、2005 年に開設され、何度かのリニューアルを重ね、現在に至ります。閲覧数は 100 万に達しようとしております。

4. 他の委員会で扱わない事案

会員増加策、若い弓道人の入会促進・定着率向上策等について毎年検討を続けています。昨年度は県内各道場へアンケートを依頼し、実態把握を実施しました。

指導委員会

30 年度指導方針

委員長 飯島 千代子

今年度の全日本弓道連盟の指導方針が決まりました。

1. 「射法・射技の基本」に徹すること
 - ・基本の 5 項目を深く習得していく
 - ・正しい射法八節を実践していく
2. 「基本体の必要性」の実践
 - ・動作の注意点 (8 項目) を習得していく
3. 高段位者について
 - ・更なる射品、射格を高めていく努力を怠らないこと
4. 公認資格認定制度について
 - ・平成 30 年度は「公認資格認定制度」施行の初年であるのでこの周知と定着をはかっていく

埼玉県は五段以上の講習会は県連主催で行っており、年度内 3 回受講できます。四段以下は各支部で行われますがやり方等は支部によって異なります。

今年度は、射法射技の他、男性の肌ぬぎ肌入れ・女性の釋さばきを講習日程に入れたいと思っています。基本は、支部の講習会で指導をお願い致します。

受講生は『講習会で教えてもらえばよい』との考えではなく、更なる上達を目指すこと、又基本が崩れて自己流になってはいないか、気付かせてもらうことを目的として欲しいと思います。

常に恭敬愛の心をもって、共に精進して参りましょう。

指導委員会構成

顧問	松沢 岳 他 2 名
委員長	飯島千代子 (総括)
副委員長	市川 政子 (県連講習会)
同	池谷 茂 (会計・県外講習会)
同	古泉 利昭 (公認資格認定制度)
指導委員	浅野 有三 他教士七段の先生方 16 名

競技委員会

県弓道大会要領の一部改正

委員長 岡芹 喜行

平成 29 年度の各競技会に大勢の参加をいただき盛大に開催されましたことに感謝申し上げます。平成 30 年度の競技会を円滑に進めるため理事会の同意を得て下記のとおり大会要領の一部改正を行いました。

●表紙

入賞者をホームページに掲載しています。

「公表を希望されない方は、大会参加申込書の特記欄にホームページの掲載を希望しない旨明記して下さい」と記載しました。

●第 56 回埼玉県勤労者弓道大会(9 月 2 日開催) 7 月上旬大会の案内を支部長宛に送付します。運行欄の中で

○競技方法 3 人 1 チームとし、団体 12 射(各自 4 射) 的的中 6 中以上の上位 32 チームまでを予選通過とする。(32 チームに満たない場合にはシード枠とする。)

個人戦は団体予選的的中をもって、個人成績とし、4 射皆中の者をもって、射詰めを行う。

(4 射皆中者がいない場合のみ 3 中者で順位決定)

○入賞は個人 10 位以内。

と一部改正し時間の短縮を図りました。

●第 31 回埼玉県民総合体育大会(9 月 16 日開催) 6 月上旬大会案内等を各支部長に送付します。運行欄の中で、

○選抜は原則として、同一市町村居住者でのチーム構成とする。但し、選手不足の場合は**支部内市町村居住者であれば他市町村居住者との併合も可とする。**

***各支部予選会では、他支部所属の選手が同一居住市町村チームとして出場することを可とするよう配慮する。**と一部改正して各支部の選手選出条件を統一して平等性を図りました。

総合体育大会は各支部予選会が予定されますので各支部の予選会案内をご覧ください。他支部所属の県連会員は、居住先の各支部の問い合わせ先へ紹介して下さい。

今年度も事故もなく無事に大会が盛大に開催されますよう会員皆様のご協力をお願いいたします。

国体選手強化委員会

福井国体に向けて

委員長 瀧上 三郎

平成 29 年 9 月の愛媛国体は少年女子と成年女子の 2 チームが出場し、成年女子が遠的競技で 4 位に入賞して終了しました。

皆様の温かい応援ありがとうございました。

平成 29 年 10 月から、次の平成 30 年福井国体に向けて 5 回の育成会の後、3 回の予選会を行います。

第 1 回予選会は 3 月 10 日、男子 17 名女子 8 名の参加、第 2 回は 4 月 1 日、男子 18 名女子 9 名の参加で行いました。

今回新人の参加もあり期待されるところです。

上位 3 名の成績は次の通りです。

予選 1 回目

男子 遠的 7 中 × 2、6 中 = 20 中 115 点

近的 8 中 × 2、7 中 = 23 中

女子 遠的 7 中、6 中、4 中 = 17 中 93 点

近的 6 中、5 中 × 2 = 16 中

予選 2 回目

男子 遠的 8 中 × 3 = 24 中 164 点

近的 8 中 × 2、7 中 = 23 中

女子 遠的 7 中 × 2、6 中 = 20 中 109 点

近的 6 中、5 中 × 2 = 17 中

予選 1 回目は男女ともに成績は振るいませんでしたが、予選 2 回目は男子の調子は上向き、女子は今一つの成績でした。

更なる研鑽をして、4 月 30 日の最終予選に臨んでいただきたいと思います。

今年こそ成年男子チームは本国体出場を果たすべく、選手決定後は錬成を重ねて力をつけていきます。

関東ブロック大会は 8 月 26 日に茨城県水戸市で行われます。

福井国体出場に歩を進めるためには、まず関東ブロック大会の突破を目標に錬成を積み上げて、少年・成年の男女 4 チームがそろって本国体に出場出来ますよう皆様の温かい声援をお願いします。

審査委員会

一年を振り返って

委員長 齋藤 安次

審査委員会委員長を拝命して1年が経ちました。委員会のメンバーをはじめ多くの関係者に支えられ、ご協力をいただきながら無事遂行できましたことに感謝申し上げます。

さて、平成29年度の受審者数は5,252人、合格者数が2,221人ありました。審査会は、地方・連合・学生・中央審査会に区分されており年間で52回を数えております。詳細は埼玉連・評議員会議案書をご覧ください。

審査委員会はこの方々の申込受付から認許証書をお届けするまでの事務処理を行っています。

【審査申込書は楷書で丁寧に！】

本人が作成した申込書は、道場・支部・県連の受付担当者の手を経て資料を作成し、審査会場へ送ります。各部署の担当者は間違いが無いように細心の注意を払って作業をしていますが、約0.01%ですが間違いが発生しています。

数年前の2件の事例を紹介しますので役立てて頂ければ幸いに存じます。

①認許証書の名前の字が違う。「吉」の字が「土に口」です。保管してあった審査申込用紙は「土に口」になっていました。この時は印刷し直しています。

②審査会場に行ったところ、受付で自分の名前が無かった。原因は手書きのID番号が判別し難く担当者が「7を1」と入力して全く別人が登録されてしまった。この時は県連会長が審査委員長(全弓連会長)にお願いして最後に引かせて頂いたそうです。

何れにしても審査申込書は、楷書で丁寧に書かないと多くの人に迷惑を掛けることとなりますので、宜しくお願い致します。

【審査関係の情報】

四段以下の埼玉地方審査会は全日本弓道連盟の委託事業になっています。審査受審に当たっては、弓道教本の理解と合わせて、全弓連HPに掲載の、①審査規程及び内規、②審査統一基準、③行射の要領、④立射の作法、⑤審査申込書等のご理解をお願い致します。パソコンの無い方のためにコピーしたものを道場に設置していただけますようお願い致します。

女子部

女子部だより

部長 鷹巣 光子

第54回全日本女子弓道大会(東日本の部)が6月3日に行われます。県連会長始め理事長・副理事長・県連役員の先生方・女子会員の皆様方のご協力により、無事に終了出来ますようお願いしてこの原稿を書いています。

大会の参加者募集を2月28日で締切りしましたところ、840名の人数になりました。その旨を小宮先生にお知らせいたしました所、先生のメールでの返信は「私が誘致して始まったのに、何も役立たずで、申し訳ありません。以前と変わらない人数ですが、諸行事が多い中、良く集まってくれましたね。みんな力を合わせて、笑顔で大会を盛り上げて下さい。私は盛会と成功を、見守っています。」との返信でした。

アレー、この空間は何なんだろう。何か意味があるのかしら?とと思っている矢先に、先生のご不幸の知らせが飛び込んできました。もう!ハンマーで頭を“がつ〜ん”と殴られた気分で、何も考えられず情緒不安定な自分を見出しました。同級生だったのに!まだ平均寿命を全うしていないのに!これからもうひと踏ん張りして頂かないと!涙、涙の日々でした……。先生のお言葉どおり、笑顔、笑顔で大会を心に刻んで盛り上げて行きたいと考えています。

それから昨年の子遠大会・近大会の時、皆様方に「これからの女子部について」のアンケートをお願いして、ご意見を参考にさせて頂きました。皆さま方も会長より、女子近大会・新年の初射会のご挨拶等でお耳に入っていると思いますが、日本体育協会から「男女平等に行うように」と通達がでておりますので、如何にしたら平等になるのか?女子部があるので男子部も作る事により平等になるのでは?

女子会員の会費制で別に発起したら等の意見もありましたが、これからの課題です。私個人としては、浦上先生や池田先生・小宮先生達が一生懸命自分達を育ててくださったお陰で、今日を迎えることが出来たと思っております。今度は先人から受け継いだもの・築き上げたものを後輩に伝えて行きたいと思っております。

高 体 連

引き続き高校弓道への御支援を

委員長 山田 紀之

日頃より連盟の先生方には、高体連の活動に絶大なる御支援と御協力を賜り、感謝申し上げます。おかげさまで平成 29 年度の行事も滞りなく終了することができましたことを併せて深く御礼申し上げます。

本年度は役員改選の年ではありませんので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年 3 月栃木県那須町で栃木県高体連山岳専門部の登山講習中に参加生徒と教諭合わせて 8 人が死亡するという雪崩事故が発生しました。

1 年後の先日、講習会を運営した専門部の委員長を含めた教諭 3 名に懲戒処分が出ました。雪崩の予見可能性と安全配慮義務を怠ったという判断でした。失われた命は二度と戻らないということを考えると、同じ高校生を預かる教員として改めて安全への配慮を第一にということ肝に銘じる出来事でした。

思いもよらないことが重なり事故は起こります。重大事故の陰には、いくつもの予兆があると言われます。特に精神的にも、技術的にも未熟な高校生に弓道を指導する顧問として、様々な配慮を怠らないように、私自身改めて気をつけて参りたいと思います。

さて、教員の忙しさは今に始まったことではありませんが、「教員の働き方改革」が今議論されています。運動部活動を取り巻く環境も時代の流れとともに大きく変化してきています。

文部科学省の外局であるスポーツ庁で、「運動部活動のガイドライン」が検討されています。休養日、1 日の練習時間、トレーニング方法、大会の統廃合など様々な問題があります。「ブラック部活動」などという言葉も耳にするようになりました。

忙しい教員としての校務に加え、さらに運動部活動の顧問として負担が大きくなっているのも事実です。何かの犠牲の上に成り立っている活動には限界があり、明るい未来は望めないと思います。教員も生徒も共に生き生きと活動でき、成長できる部活動を目指して行かなければなりません。

本県弓道部の場合、高校に入学して初めて弓

道始める生徒がほとんどです。入部から引退までほぼ 2 年間の中で、射法八節を覚え、的前に立ち、大会に出て活躍する生徒を育てるために、それぞれの顧問がどのような努力をしているかを多くの皆さんに知っていただければと思います。

高校弓道が元気なことは、必ず日本弓道界の発展につながると私は確信しています。また、弓道部活動を通して、生徒は大きく成長して卒業して行きます。弓道部顧問として生徒と関わられることを誇りにできるような、そんな高体連弓道専門部を作って行きたいと思います。そのために、各方面と連携を図りながら本年度も努力して参ります。引き続き御支援くださいますようよろしくお願い申し上げます。

〈大会結果〉

●全国選抜大会県予選

平成 29 年 11 月 4 日(土)、5 日(日)、11 日(土)

女子 449 名 男子 458 名 大宮公園弓道場
○女子団体／①大宮南 A(関 彩夏、二宮寧々、中村莉那、中村美月) ②草加西 A(岩淵奈々美、大津由楓、吉田真希、内海 希) ③浦和北 A(佐藤なづな、鶴田香奈美、加藤世奈、飯塚 萌) ④坂戸西 B(大木涼々花、石井莉香、細淵菜月、岡明日美)

○男子団体／①伊奈学園総合 A(渡邊 凜、鈴木 蓮、松元優介、小林健人) ②坂戸西 B(工藤瑠樹也、竹澤 翔、坂田 岬、谷田部颯斗) ③伊奈学園総合 B(小林健人、関口達哉、鈴木晴也、宇都木陸斗) ④飯能 A(戸田舜一朗、グニオ・フナキ・ブライアン、杉山大知、栗井将登)

○女子個人／①吉田真希 14 中(草加西) ②細淵菜月 14 中(坂戸西) ③盛武胡桃 12 中(草加西) ④藤田花那 11 中(熊谷女子)

○男子個人／①志摩安伶 15 中(東農大三) ②渡邊 凜 14 中(伊奈学園総合) ③長田 潤 14 中(久喜北陽) ④山崎 大 14 中(大宮南)

※男女団体各 1 位、女子個人 1、2 位、男子個人 3、4 位(1、2 位は団体出場のため繰り上げ)の選手は全国高校弓道選抜大会に出場

●第 36 回全国高等学校弓道選抜大会

12 月 24 日(日)～26 日(火) 滋賀県大津市滋賀県立体育館特設弓道場

※入賞なし

●第 17 回東日本高等学校弓道大会

3月23日(金)～25日(日)

福島県会津若松市あいづ総合体育館特設弓道場

○5人制女子

1回戦 坂戸西 13-14 県立千葉(千葉)

草加西 16-8 伊勢崎(群馬)

2回戦 草加西 13-11 新屋(秋田)

準決勝 草加西 13-13 県立千葉(千葉)

(4-3) 同中競射

決 勝 草加西 16-14 桜修館(東京)

優 勝 草加西(大津由楓、盛武胡桃、吉田真希、
岩淵奈々美、星 明希、横川向日葵、伊藤未紗希)

※来年度推薦出場

○3人制女子

1回戦 草加西 7-7 橘(福島)

(3-2) 同中競射

2回戦 草加西 8-7 作新学院(栃木)

準決勝 草加西 10-6 境(茨城)

決 勝 草加西 8-9 吉田(山梨)

第2位 草加西(岩淵奈々美、大津由楓、吉田
真希、盛武胡桃)

○3人制男子

1回戦 川越総合 10-8 東海大菅生(東京)

2回戦 川越総合 7-3 栗山(北海道)

準決勝 川越総合 8-11 盛岡市立(岩手)

第3位 川越総合(種市惇輝、長田大樹、落合
聖也、野口陽輝)

第 17 回東日本高校弓道大会 会津大会



女子5人制決勝 草加西高校 16中 で優勝



5人制優勝 3人制準優勝
草加西高校



3人制第3位
川越総合高校

大会・射会入賞記録

●第 41 回埼弓連女子部弓道大会

平成 29 年 10 月 15 日 埼玉県立武道館(上尾市)

参段以下の部：①尾崎智子(朝霞)、②森田裕美(朝霞)、③大垣朋子(久喜)、④柴谷恭子(飯能)、⑤新島麻美(大宮)

四・五段の部：①新井奈都美(大宮)、②奈良久美子(鴻巣)、③原田里美(岩槻)、④仲二見ゆう子(新座)、⑤佐藤明子(春日部)

称号の部：①田本純子(熊谷公園)、②小原純子(富士見)、③由岐中美智江(大宮)、④二宮三千子(戸田)、⑤渡部恵理子(上尾)

知事杯：田本純子(熊谷公園)

技能賞：田本純子(熊谷公園)

●第 68 回全日本弓道遠的選手権大会

平成 29 年 10 月 20 日～22 日 全日本弓道連盟中央道場

出場選手 男子：④廣松 弘(駒場)、仲田孝雄(上尾)、本橋民夫(所沢)

女子：中村尚美(越谷)、室町純子(志木)、小野千絵美(記念)

●第 133 回明治神宮奉納全国弓道大会

平成 29 年 11 月 3 日(金) 全日本弓道連盟中央道場・明治神宮至誠館弓道場

◇有段者の部：②長井敦史(熊谷公園)、⑧嶋村ふみ江(大宮)

◇称号者の部：③大塚 進(朝霞)、④中島美佐子(大宮)、

●平成 29 年度第 15 回埼玉県武道大会【弓道の部】

平成 29 年 11 月 26 日(日) 埼玉県立武道館(上尾市) 参加者 180 名(中学生 40 名、高校男女・一般男女各 5 名ずつ 7 支部計 140 名)

◇中学の部個人：①関 萌花(さいたま市立浦和中学)、②板谷栞里(さいたま市立浦和中学)、③藤田滉平(秩父市立秩父第一中学)

◇支部対抗の部団体：①県南支部、②県央支部、③東部支部

◇高校女子の部個人：①小林優羽希(深谷第一)、②大津由楓(草加西)、③吉田真希(草加西)

◇一般女子の部個人：①岡部加代子(毛呂山)、②鈴木多恵子(吉川)、③武政宏美(岩槻)

◇一般男子の部個人：①高野 聖(久喜)、②下田逞次(入間)、③富田昌孝(静仙洞)

●平成 30 年埼玉県弓道連盟新年初射会

平成 30 年 1 月 7 日(日) 埼玉県立武道館(上尾市) 参加者 288 名(称号者 174 名、有段者 114 名)

◇称号者の部：①馬場久恵(北本)、②安野雄次(小川)、③野瀬武博(富士見)、④中村尚美(越谷)、⑤市川政子(入間)

◇有段者の部：①簡野肇平(新座)、②日向美智子(草加)、③五十嵐喜久雄(駒場)、④若林 陵(小澤)、⑤長井敦史(熊谷公園)

●神奈川県・埼玉県弓道指導者交歓親善射会

平成 30 年 3 月 4 日(日) 埼玉県立武道館(上尾市) 参加者 136 名

神奈川県 37.19%、埼玉県 44.21%

埼玉県優秀選手賞 高橋好照(上尾)、廣松 弘(駒場)、岡芹喜行(本庄)、高橋久雄(熊谷公園)、村上広子(上尾)

●第 65 回全日本勤労者弓道選手権大会・埼玉県予選

平成 30 年 3 月 11 日(日) 県立武道館弓道場(上尾市) 参加者 114 名(33 名)

①航空自衛隊入間(武田宜久・大石泰彦・加藤則康)、②ホンダ埼玉(鈴木真人・松久哲也・伊藤隆司)、③所沢市役所 A(飯野良平・廣川澄芳・石川淳子)

●第 3 回世界弓道大会(東京)

平成 30 年 4 月 24 日(火) 全日本弓道連盟中央道場・明治神宮至誠館弓道場

◇個人有段者の部 三位：青木 豊(行田市)



●第 30 回埼玉県実年者弓道選手権大会兼全国健康福祉大会(ねんりんピック) 県予選会

平成 30 年 5 月 15 日(火) 参加者 164 名 埼玉県立武道館

◇実年者弓道選手権大会

①大西三枝子(越谷)、②簡野肇平(新座)、③工藤 勉(朝霞)、④中 唯志(吹上)、⑤望月 衛(久喜)

○ねんりんピック埼玉県代表選手

中 唯志(吹上)、望月 衛(久喜)、大西三枝子(越谷)、竹村銀郎(桶川)、村上広子(上尾)、下田逞次(入間)、下田 徹(所沢)、監督；望月 衛(久喜)

○ねんりんピックさいたま市代表選手

佐野正和(駒場)、中島美佐子(大宮)、馬目幾世(大宮)、原田昌彦(駒場)、岡田好範(駒場)、廣松 弘(駒場)、遠藤洋一(駒場)、監督；浅子好夫(大宮)

平成 30 年 11 月 3 日(土)～5 日(月)に富山県射水市で行われる全国健康福祉大会(ねんりんピック)弓道交流大会に出場予定



秩 父 支 部

支部長 石田 徳光

29 年度後期支部活動

支部長 石田 徳光

29 年度の後期は、9 月からの報告となります。9 月には、第 4 回地方審査が行われました。秩父は交通の便も余りよくない上に遠いところです。受審者の方々には負担が多かったのではないかと思います。230 名の受審者がありました。関係各位のご協力の下に無事終了できました。ありがとうございました。

元支部長・戸塚喜久雄先生が体育・スポーツ振興に努め著しい功績があった者として「功労賞」を受賞されました。大変喜ばしく思います。

< 競技・講習会 >

●第 5 回カップ戦

平成 29 年 10 月 29 日(日) 秩父市第 1 弓道場
参加 200 名

中学生 ①島崙江里紗 ②小泉莉彩 ③内田藍菜
高校女子①新井亜希帆②坂本ひかり③齋藤花怜
高校男子①宮原 慶②浅賀史也③播磨 光
一般女子①井上美根子②吉澤和代③黒澤淳子
一般男子①守屋 豊②黒澤 誠③川合宇一

●女子部射会

平成 29 年 11 月 12 日(日) 秩父市第 1 弓道場
参加 15 名

①井上美根子②黒澤淳子③福島輝代

●第 6 回カップ戦 納射会

平成 29 年 12 月 10 日(日) 秩父市第 1 弓道場
参加 68 名

中学生 ①内田藍菜②小池巧紘③鬼頭美紗樹
高校男子①新井智貴②内笹井蘭丸
一般女子①加藤春美②瀬戸美代子③吉澤和代
一般男子①丸山 彰②黒澤 誠③新井久慶

●第 7 回カップ戦 初射会

平成 30 年 1 月 14 日(日) 秩父第 1 弓道場
参加 109 名

中学生 ①引間凧杜②小泉莉砂③島崙孝孔
高校女子①坂本あかり②齋藤花怜③福島瑞貴
高校男子①明石太智②宮原 慶③内笹井蘭丸
一般女子①加藤春美②吉澤和代③井上美根子
一般男子①高橋 勲②若林武司③加藤佳宏

●特別講習会

平成 29 年 11 月 11 日(土)
小鹿野町武道場弓道場 参加 14 名
講師：松沢 岳範士

・基本の動作・射技指導

※大変ご多忙の中埼玉の西外れの小鹿野町までお越しいただきご指導をいただきました。いつも笑顔の絶えない松沢範士の厳しさの中に優しさのある素晴らしいご指導でした。ご高齢にもかかわらず見事な動作にみな感心すると同時に感激いたしました。参加者が少なく残念でしたが、参加できた者にとっては、今後の弓道を目指す上での大きな支えとなりました。



●四段以下講習会

平成 30 年 1 月 28 日(日) 秩父市第 1 弓道場
参加者 9 名
講師：町田文利教士

・基本動作・射技指導・介添の基本

●女子部講習会

平成 30 年 3 月 11 日(日) 秩父市第 1 弓道場
参加 12 名

講師：戸塚藤代教士

・基本動作・開き足の指導・胴造りの際弓の本はずは左膝頭におく・正しい的のねらい・襷さばき・射技指導

※戸塚教士による懇切丁寧な指導を受け、みな真剣に取り組んでいました。休憩時間では少ない人数で和やかな雰囲気の中で、弓道談義ができました。充実した一日となりました。

●高校生講習会

平成 30 年 3 月 21 日(水) 秩父市第 1 弓道場
参加者 29 名

講師：町田文利教士

・基本動作・射技指導

県北支部

支部長 高橋 久雄

今年度の取り組みについて

支部長 高橋 久雄

3月25日に支部総会が行なわれ、平成29年度事業報告と30年度の事業計画が承認されました。今年度の取り組みで、従来から変更した点についてお知らせいたします。

● 県体の支部予選会について

従来は支部予選を兼ねたカップ戦ということで所属道場毎の申込となっていたため、居住地と所属道場の市町村が異なる会員は、居住する市町村の代表選手になり難い状況でした。今後は、支部内に居住する会員が県体への参加の機会を平等に得られるように、予選会を独立させて選考方法も改善することにしました。

● 支部講習会について

今年は講習内容を充実させるため、一部の講習で対象段位や日程を分けた講習を計画しています。また予算や日程の課題がありますが、教士称号者も増えてきており、限られた講師の負担軽減のため、今までお願いしていなかった先生方にも講師として参画していただきたいと考えています。依頼された先生方には是非ご協力をお願いいたします。

< 競技・講習会 >

● 第三回支部カップ戦

平成29年10月29日(日) 鴻巣市立総合体育館弓道場 参加70名、24チーム

○団体①熊谷公園D：長井敦史、関口尚人、馬場信真 ②鴻巣F：山下広二、荻原重弘、佐藤正和

○個人一部：①新村泰之(鴻巣)、②岡芹喜行(本庄)、③中島 勇(本庄) 二部：①金子 修(行田)、②竹原 賢(鴻巣)、③長井敦史(熊谷公園) 三部：①山下広二(鴻巣)、②関口淳子(熊谷公園)、③杉山明博(鴻巣)

● 新年初射会兼中央審査昇段昇格者祝射会

平成30年1月21日(日) 熊谷運動公園弓道場 参加61名

一部：①江田恵子(熊谷公園)、②島村保男(熊谷公園)、③松本信一郎(熊谷公園) 二部：①長井敦史(熊谷公園)、②奈良久美子(鴻巣)、③吉野良夫(熊谷武道館) 三部：①栗原芳江(行

田)、②山縣邦悠(鴻巣)、③山下広二(鴻巣)

● 平成30年度県北支部総会及び射会

平成30年3月25日(日) 熊谷運動公園弓道場 参加 総会37名、射会30名

一部：①蜂須明子(熊谷公園)、②寺崎正道(深谷稲荷)、③筑井真一(熊谷公園) 二部：①山田 昇(行田)、②奈良久美子(鴻巣)、③橋本和也(深谷BT) 三部：①大淵則美(吹上)、大嶋道雄(熊谷公園)

● 第106回県北高校弓道大会

平成30年3月26日(月) 熊谷運動公園弓道場 参加15校285名(男子137名、女子148名) 男子優秀校：寄居城北高校、女子優秀校：成徳深谷高校

○男子①島崎優也(深一)、②荒木優太(寄城)、③大塚俊輝(熊農) ○女子①坂本玲緒奈(成徳)、②飯塚玲奈(寄城)、③高塚なつみ(熊女)

● 第三回支部練成会

平成29年11月29日(水) 熊谷運動公園弓道場 参加32名

講師：松沢 岳範士、岡芹喜行教士、戸塚藤代教士 内容：審査方式、射礼、射技指導等

● 第三回支部講習会(初段～四段)

平成29年10月7日(土) 寄居町立アタゴ記念館弓道場 参加46名

講師：岡芹喜行教士、戸塚藤代教士 内容：審査方式、入退場等

● 第四回支部講習会(初、貳段)

平成30年2月4日(日) 熊谷運動公園弓道場 参加39名

講師：正能正三教士、寺崎正道教士 内容：審査方式、基本の動作、射技指導等

● 第四回支部練成会

平成30年3月14日(水) 行田市弓道場 参加32名

講師：飯島千代子範士、正能正三教士 内容：矢渡・介添、審査方式、体配、射技指導等

● 第8回高校生受審者講習会

平成30年3月29日(木) 熊谷運動公園弓道場 参加103名

講師：飯島千代子範士、岡芹喜行、正能正三、寺崎正道各教士、公認指導員等 計14名、内容：基本体、入退場、審査方式、射技指導等

東 部 支 部

支部長 北原きい子

29 年度下半期活動報告

副支部長 村上 節子

平成 29 年度下半期行事も計画通り遂行し、3月25日(日)には桜が満開に近い大宮公園弓道場にて111名の出席者の下、定期総会が行われました。29年度会務報告及び決算の承認、30年度事業計画及び予算の承認がなされました。

北原支部長の下、新役員体制で1年が経過しようとしています。29年度は、初めての試みとして「弓道講座」(座学)を、教士八段坂本武彦先生にお願いし、年度末ギリギリの3月21日(祝・水)に開催することが出来ました。段位を問わず募集を凶ったところ112名の申し込みがあり、参加者からは、「とても勉強になった」、「是非、続けてほしい」という声があがり、次年度計画にも組み入れる事になりました。

また、昨年度総会時に会員より希望のあがった「支部遠的大会」を、30年度に開催する運びとなり、昨年末には支部競技役員が運営方法等、研修も済ませております。会員の活発な意見、活動が各種大会、審査等の結果に繋がっていることを感じます。次年度も様々な場面で会員の活躍が期待されます。

< 競技・講習会 >

●東部支部 納射会

平成 29 年 12 月 10 日(日) 大宮公園弓道場
参加 120 名

- ①新島 崇(幸手) ②圓子トキ子(春日部)
- ③高野 聖(久喜)

●東部支部 初射会

平成 30 年 1 月 8 日(月) 埼玉県立武道館弓道場
参加 136 名

- ①村上広子(上尾) ②新島 崇(幸手)
- ③細野隆志(春日部)

●東部支部 総会射会

平成 30 年 3 月 25 日(日) 大宮公園弓道場
参加 109 名

- ①内藤今朝雄(上尾) ②菱谷 隆(宮代)
- ③高野 聖(久喜)

●相互研修会(段位制限なし)

平成 29 年 10 月 9 日(月) 大宮公園弓道場
参加 25 名 指導役: 四段以下に対し支部称号者
内容: 基本体、審査の要領での行射、肌脱ぎ・肌入れ、襷さばき、持的射礼、一つの射礼

●指導部・競技部 合同研修会

平成 29 年 12 月 17 日(日) 大宮公園弓道場
参加 34 名
テーマ: 遠的競技の運営(相互研修)

●第 6 回講習会(弐段以下の部、参・四段の部)

平成 30 年 1 月 27 日(土) 県立武道館弓道場
参加 49 名 講師: 支部称号者
内容: 基本体、入場から退場までの動作、審査の要領での行射、肌脱ぎ・襷さばきと質疑応答、審査の諸注意、射技指導

●弓道講座(段位制限なし)

平成 30 年 3 月 21 日(水) スポーツ総合センター研修室 参加 111 名 講師: 坂本武彦教士
内容: 弓道の目的・目標、弓の世界、弓の歴史、現代の弓、弓具の考え方と取扱い等



教士八段 坂本武彦先生による弓道講座

●第 7 回講習会(高校生の部)

平成 30 年 3 月 26、27 日(月、火) 大宮公園弓道場 参加 220 名 講師: 支部称号者
内容: 基本の姿勢、基本の動作、執弓の姿勢、矢番え動作、審査における入場から退場までの動作の流れ審査の要領での行射、射技指導



県南支部

支部長 森 正一

第30回記念大会を迎えて

吉川市弓道連盟一心館 五十川 英俊

ドーン、ドーン、と太鼓の音が響き、「神事を執り行います。」の司会の声。「武輝神社奉納射会」は、厳かな神事から始まります。

毎年3月の最終日曜日に開催される「武輝神社奉納射会」も今年で30回目を迎え3月25日に記念大会として開催いたしました。

一心館は、3人立のこぢんまりとした道場です。そこに150名を超える参加者をお迎えし、皆さんに楽しんで気持ち良く帰路についていただくために、会員総出で準備をします。

賞品には手作りの米俵の他、多くの飛び賞を用意し、前日から控室とするためのテントを設営し、豚汁を仕込み、大会当日に皆さんをおもてなしします。



こんな手作り感満載の大会ですが、これまでは天候に恵まれないことが多く、春の嵐に襲われ、大雨、大風、時には両方と、悪天候に見舞われることが度々、いや毎年のようでした。

ところが、どういうことか今年は朝から雲一つない快晴で、穏やかで温かく、春らしい陽気になりました。そんな陽気も手伝い、参加者の成績も良く、6射皆中者が3名と普段にも増して白熱し、記念大会にふさわしい一日になりました。

これまで、手狭で不便な会場、天候にも恵まれないことが多いにもかかわらず、毎回近隣の弓連の方はもとより、遠方から多くの方に参加いただいています。集まっただけの方々には感謝の思いしかありません。

参加者が笑顔で帰路につき、また来年来てみたいと思ってもらえる大会にできるよう、会員

一同これからも頑張っていきます。

次回大会も会員総出で準備をして皆様をお迎えます。ご興味がある方は、ぜひご参加ください。

<競技・講習会>

●平成29年度納射会 県営大宮公園弓道場

平成29年12月9日(土)参加者98名

①秋元宏友(戸田)②飯田恵美子(越谷)③森俊人(吉川)

●平成29年度初射会 県営大宮公園弓道場

平成30年1月14日(日)参加者94名

①村永政志(川口)②鹿野信恵(越谷)③大野宏之(川口)

●平成30年度総会射会 県営大宮公園弓道場

平成30年3月17日(日)参加者103名

①高橋利夫(川口)②大西三枝子(越谷)③手計美幸(川口)

●第3回参・四段講習会 県営大宮公園弓道場

平成29年10月14日(土)参加33名

講師：岡田義助、豊田英子各教士

●第3回弐段以下講習会 県営大宮公園弓道場

平成29年10月21日(土)参加17名

講師：大竹淑夫教士

●第4回弐段以下講習会 県営大宮公園弓道場

平成30年1月21日(日)参加22名

講師：谷口保雄、坂本 恵各教士

●第4回参・四段講習会 県営大宮公園弓道場

平成30年2月4日(日)参加33名

講師：鹿野信恵、森 正一各教士

●県南支部高校生講習会

①平成30年2月12日(月)参加83名

県営大宮公園弓道場 講師：大竹淑夫教士、見木徳三、高橋なみえ、有ヶ谷将人、熊木幸夫、二宮三千子各錬士

②平成30年2月17日(土)参加74名

県営大宮公園弓道場 講師：坂本 恵、大竹淑夫各教士、宮澤梢枝、木本将史、西野静子、佐藤恙子各錬士

※講習内容は各段位に応じて体配、射技指導等を実施

●県南東部高校生大会

平成30年3月24日(土)県営大宮公園弓道場

審判員 大竹淑夫教士

県 央 支 部

支部長 古泉 利昭

支部長の一年が過ぎて

支部長 古泉 利昭

昨年4月に支部長職に就いてから、あっという間に一年が過ぎてしまいましたが、その間での一番大きな出来事は、支部顧問の小宮栄子先生が亡くなられたことです。

10月に「生涯スポーツ功労賞」を受賞され、その祝賀会の準備を進めている中、体調を崩されたとのことでいったん準備を中断していたのですが、まさかこのようなことになるうとは、夢にも思わぬことでした。

先生には本当にいろいろなことを、時には厳しく、時にはユーモアをまじえて教えていただきました。

これからは、先生から受けた教えを胸に刻み、それを次の方にお伝えするのが先生の御恩に報いることと思ひ、これからの支部長職を頑張ろうと思っています。

< 競技・講習会 >

● 武道大会選手選考会

平成29年10月7日(土)大宮公園弓道場
参加19名12名選出

● 市民体育大会

平成29年10月22日(日)大宮公園弓道場
参加179名 ○団体①混合(戸部博貴・荒井勝明・秋山貴美雄)②岩槻(飯嶋 功・石川芳男・軽込次男)③記念(亀沢光治・町田秀夫・吉嶺暢嗣) ○個人男子①軽込次男(岩槻)②鈴木逸士(駒場)③秋山貴美雄(駒場) ○個人女子①小石久枝(記念)②中島幸子(大宮)③大成周子(記念)

● 市民体育大会(高校の部)

平成29年10月29日(日)大宮公園弓道場
参加608名 ○団体男子①大宮東(小寺・跡部・大内)②岩槻商業(江原・山根・矢部)③市立浦和(扇・檜山・藤井) ○団体女子①浦和一女(深尾・森田・水野)②大宮光陵(小林・戸田・富田)③浦和北(佐藤・鶴田・加藤) ○個人男子①山根快斗(岩槻商業)②三浦賢人(岩槻商業)③江原拓海(岩槻商業) ○個人女子①照屋陽光(浦和東)②仲川柚乃(浦和北)③深尾陽菜葉(浦和一女)

● 県央支部杯・市選手権大会

平成29年11月18日(土)大宮公園弓道場
参加114名 ○団体①長谷川清(大宮)仁木弘之(駒場)松田栄子(駒場)②原田昌彦(駒場)大成周子(記念)増田京子(大宮)③松平健児(与野)原田里美(岩槻)中島美佐子(大宮)個人 ○称号者①松田栄子(駒場)②武政宏美(岩槻)③木幡清志(岩槻) ○四五段①亀沢光治(記念)②金子節子(駒場)③小林ミワ(大宮) ○参段以下①原田昌彦(駒場)②長谷川清(大宮)宇都宮寿武(記念)

● 県央支部納射会

平成29年12月10日(土)大宮武道館弓道場
参加133名 ○称号者①奥山ゆう(大宮)②生方美代(記念)③中島幸子(大宮) ○四・五段①東森貴志(岩槻)②渡部伸二(岩槻)③五十嵐喜久雄(駒場) ○参段以下①柿沼 薫(駒場)②濱井さやか(大宮)③石田典子(大宮)

● 県央支部初射会

平成30年1月8日(月)大宮公園弓道場
参加157名 ○称号者①木幡清志(岩槻)②廣川哲次(駒場)③荒井 渉(大宮) ○四・五段①辻 敏治(岩槻)②山岸繭子(駒場)③新井奈都美(大宮) ○参段以下①石田典子(大宮)②名和隆志(記念)③長谷川清(大宮)

● 県央支部総会射会

平成30年3月18日(日)大宮公園弓道場
参加102名 ①原田里美(岩槻)②松田栄子(駒場)③小石久枝(記念)

● 春季高校生(中学生)大会

平成30年3月29日(木)大宮公園弓道場
参加591名 ○団体男子①埼玉栄(辻野・野原・大野)②市立浦和(菅谷・扇・穴見)③浦和学院(江原・高橋・河崎) ○団体女子①大宮光陵(小林・古谷・三俣)②岩槻商業(塚田・土田・中山)③大宮南(関・二宮・中村) ○個人男子①辻野泰輝(浦和)②鈴木 翔(岩槻商業)③宮本恭伸(浦和) ○個人女子①天沼美優香(浦和北)②鳴原優貴子(浦和北)③佐藤なづな(浦和北) ○中学生個人①関 萌花(市立浦和)②原田陽菜(埼玉栄)③佐藤愛莉(市立浦和)

● 弐段以下講習会

平成29年9月9日(土)大宮武道館弓道場
参加72名 講師：岡田義助教士、松澤おかり教士、池田浩次教士 講習内容：射技指導、体配ポイント研修

西部支部

支部長 池谷 茂

「平成 30 年度」スタート

支部長 池谷 茂

平成 29 年度より支部長に就任してから手探りの 1 年間があつという間に過ぎました。お陰さまで役員・会員の皆様のご協力により支部の行事および事務連絡等を滞りなく行うことが出来ました。心より感謝申し上げます。29 年度は西部支部より優秀選手として 3 名の会員が県連より表彰されました。今年度も多くの会員のご活躍と多数の昇段・昇格者が出ることを期待しています。

3 月 10 日の「平成 29 年度埼玉県体育賞授与式」に於いて富士見市弓道連盟会長・平塚雄一先生が 14 年間会長として、体育・スポーツ振興に努め著しい功績のあった者として「功労賞」を授与されました。大変喜ばしく思います。

3 月 25 日には西部支部評議員会が無事に終わり、新たに 30 年度がスタートしました。引き続き、支部の役員と会員の皆様にご協力をお願いし、支部の行事が円滑に進められるように微力ではありますが、誠心誠意努めて参りたいと思います。昨今、会員増員も難しく初心者教室の開催に各道場が地道な努力を積み重ねていると思われまふ。成果が表れるよう祈っています。

健康に留意して「弓」を楽しみ日常生活を豊かにしていただきたいと心より願っています。

今後ともご指導・ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

<競技・講習会>

●第 27 回 西部支部高校弓道選手権大会

平成 29 年 11 月 19 日(日) 所沢市民武道館
参加 98 名

○団体部：①所沢北高校 H チーム(武藤 諒・遠藤慶多・小林悠斗)②所沢北高校 A チーム(富樫友梨香・山口真奈・内山直人)③所沢北高校 C チーム(青木翔梧・檜森杏菜・中島健登)

○個人の部：①滝本 光(所沢高校)②武藤 諒(所沢北高校)③根岸萌香(所沢北高校)

●納射会

平成 29 年 12 月 3 日(日) 所沢市民武道館
参加 109 名

●三・四段講習会

平成 29 年 9 月 9 日(土) 大宮公園弓道場
参加 43 名 講師：浅野光子教士、山中茂夫教士、由岐中美智江教士 講習内容：基本体・基本の動作の研修、講評、主任講師の行射見取り稽古

●称号者講習会

平成 30 年 1 月 14 日(日) 大宮武道館弓道場
参加 39 名 講師：岡田義助教士 講習内容：矢渡・立ち射礼の実践研修、持ち的・一つの射礼 高校生講習会に向けての講話

●四段以下講習会

平成 30 年 1 月 20 日(土) 県立武道館弓道場
参加 109 名 講師：浅野有三教士、廣松 弘教士、勅使川原隆教士、松澤かおり教士 講習内容：体配研修、射技指導

●五段講習会

平成 30 年 1 月 21 日(日) 大宮武道館弓道場
参加 38 名 講師：岡田義助教士、古泉利昭教士、片岡一子教士 講習内容：一手行射と講評、持ち的射礼研修 射技指導

●高校生講習会

平成 30 年 3 月 21 日(水) 大宮公園弓道場・大宮武道館弓道場、3 月 25 日(日) 県立武道館弓道場 参加 238 名 講師：岡田義助教士、他支部内称号者 37 名 講習内容：審査に向けての体配・矢・射技指導、注意事項の確認等

編集後記 61 号

前回 60 号で小宮栄子範士の「生涯スポーツ功労賞」受賞記事を掲載したばかりでした。

今回の 61 号では、その小宮先生の訃報を掲載しなければならず非常に残念でなりません。

61 号の発行にあたって、急遽先生方に追悼文をお願いしました。いただいた原稿に目を通したところ、小宮先生の心情に接し思わず涙がこぼれてしまいました。

私は小宮先生と直接お話することはほとんどありませんでしたが、小宮先生の女学校時代からの友だった錬士六段・金井登喜子先生(熊谷公園)が一昨年秋に急逝されたときの落胆された小宮先生のお姿が目浮かびます。

小宮先生のご冥福をお祈りいたします。

編集長 高橋久雄

中 部 支 部

支部長 蔦田 富男

- 三段以下の部①岩元 真(朝霞)②森下珠美(所沢)③荻原経市(三芳)
- 四段以下の部①境 和久(朝霞)②遠藤哲也(朝霞)③阿佐美和子(富士見)
- 称号者の部①池谷 茂(上福岡)②野瀬武博(富士見)③三浦良子(上福岡)
- 総合優勝、岩元 真(朝霞)

●初射会

平成30年1月21日(日)所沢市民武道館
参加122名

- ①直井良一(新座)②中村康代(所沢)③本橋民夫(所沢)

●総会射会

平成30年3月25日(日)所沢市民武道館
参加100名

- ①長瀬きよ子(富士見)②山田浩二(新座)③足立伸昭(志木)

●第5回支部講習会(三・四段/二段以下)

平成30年2月5日(日)

○三・四段：大井弓道場 参加44名 講師：岡芹喜行教士、加藤良子教士 内容：矢渡(射手・介添の指導)一手行射及び全体講評、射技指導。

○二段以下：三芳町弓道場 参加49名 講師：岡田義助教士、青田 昇教士 内容：体配の説明と範示、一手行射、講話、射技指導、全体講評。

●春期高校生講習会

平成30年3月27日(火)所沢市民武道館
参加60名

講師：池谷 茂教士、福田ちえ子教士、平山夏子教士

内容：入退場、歩行、開き足、矢番え動作の実習、失の処理、一手行射、射技指導、全体講評

●第1回支部講習会(三・四段/二段以下)

平成30年4月7日(土)

○三・四段：三芳町弓道場
参加46名 講師：岡田義助、平山夏子各教士
内容：一手行射及び全体講評、入退場注意点、体配、射技指導(三重十文字・離れは矢筋に切る)

○二段以下：朝霞市内間木公園弓道場
参加41名 講師：浅野光子、花井俊則各教士
内容：基本の姿勢確認、一手行射、解説講評、基本動作体配、射技指導、仕上行射

玉之内淳先生を偲んで

中部支部顧問 内河 輝臣



中部支部の射会行事はすべて、日高アリーナ弓道場にて行われますが、その審判席には必ずわれわれの射を暖かい目でご覧になる玉之内先生のお姿がありました。ところが、

去年はそのお姿がほとんど見られず、先生はどうされているのかと、不安と寂しさを感じていましたが、この度の突然の訃報にただ驚くばかりでした。

あいさつや講評では、ちょっとした駄洒落やユーモアを織りませ、なごやかな雰囲気の中に、チクリと着装のことなど指摘され、含蓄のあるあの名調子も、もう聞くことができません。

先生は30歳の頃、ふとしたきっかけで弓道に出会い、たちまちその魅力にとりつかれ、のめり込まれたようですが、その経緯は本紙「弓道懐旧談」(第54号)の記事にある通りです。以来半世紀余り、忙しいお仕事の合間に、持ち前の凝り性と旺盛な研究心をもって、ひたすら研鑽に励まれ、絵になる見事な弓を引く境地に達せられました。

平成元年から10年間にわたり中部支部長として支部の発展に尽くされ、特に創立五十周年記念誌の支部の原稿取り纏めでは見事なリーダーシップを発揮していただきました。

また、平成11年からは埼玉連理事長、同13年からは副会長(総務委員長)として、同17年3月に退任されるまで、埼玉連の運営にも多大な貢献をされました。

先生は日体協の公認弓道C級コーチの資格をお持ちでしたので、平成21年に埼玉連として初めての弓道公認指導員養成講習会を実施するにあたり、私は実施責任者である理事長の立場からその講習会の講師をお願いし、講義と実技両面で大変なお骨折りをいただきました。

このC級コーチの資格取得には、高度な内容の専門科目の学科試験があり大変な難関で、埼玉連でも取得者は数人しかおりません。

さて、先生は円満なお人柄で、博学多識、人間としても非常に魅力的でしたが、もともと明晰な頭脳をお持ちだった上に探求心が旺盛で、何事も納得がいくまで調べたり、聞いたりされるのが常でした。「ひかがみ」、霞的の白黒の面積比、川越市的場の「的中観音」の蘊蓄など、以前の本紙掲載記事でご覧の通りです。

お酒は全く飲まれないのに、宴席では誰よりも楽しそうに雰囲気盛り上げてくれるのが常で、話題が豊富な上に、時にはポケットからさつと手帳を取り出し、かつての的中記録やそば屋はどこの町のどこの店が旨いなど、お宝的な情報をご披露されるメモ魔でもありました。

学生の頃は戦争が激しさを増すにしたがい、授業どころではなく、旧制中学1年生のときに上福岡（現ふじみ野市）の陸軍造兵廠川越製造所（いわゆる火工廠）に勤労働員された思い出話を、よくお聞きしました。

終戦までの約半年間、エボナイトの部品をただひたすら鉄ヤスリで研磨する作業に従事され、この間に、合計118円の報酬金を支給されましたが、手元に受け取ることなく、未だにそれがどうなったのか分からないとのことでした。

先生はこのときの報酬金計算票を大切に保管されていたので、3年ほど前、NHKテレビの取材（首都圏ニュース？）を受けたことがあります。当時の火工廠が取り壊されることになり、番組ではその建物の中を歩きながら当時の作業の思い出や心境などを語っておられました。

先生にはご指導いただきたいことが、まだ山ほどありましたのに誠に残念です。あらためて、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

（玉之内淳先生は2月23日に逝去されました。享年86歳でした）

< 競技・講習会 >

●第15回武道大会中部支部予選（高校）

平成29年8月26日（土）日高アリーナ弓道場

□男子団体の部 ①所沢北D（武藤、榎林、東）
②坂戸西A（工藤、澤田、坂田）③川越総合A（落合、野口、長谷部）

□女子団体の部 ①坂戸西A（大木、石井、細淵）
②坂戸西D（阿部、添田、中島）③坂戸西B（穂刈、今野、大塚）

□男子個人の部 ①岡本拓三（武蔵越生）②坂田 岬（坂戸西）③落合聖也（川越総合）

□女子個人の部 ①石井莉香（坂戸西）②佐藤莉緒（飯能）③大塚美侑（坂戸西）

●第11回みのり会（60歳以上）

平成29年10月3日（火）日高アリーナ弓道場

①坂東 文（日高）②西崎明伸（入間）③坂東富士夫（日高）

●第17回中部支部高校弓道大会

兼 読売新聞さいたま支局長杯争奪戦

平成29年11月14日（火）日高アリーナ弓道場

□男子団体の部 ①坂戸西A（工藤、竹澤、坂田）
②武蔵越生A（本村、細沼、岡本）③川越初雁A（岩城、砂川、寺田）

□女子団体の部 ①入間向陽A（小沼、工藤、川満）②川越南A（緑川、奥之園、小林）③坂戸西A（大木、石井、細淵）

□男子個人の部 ①河原大樹（東農大三）②大川泰生（東農大三）③赤岩春紀（川越工）

□女子個人の部 ①石井莉香（坂戸西）②松本萌（東農大三）③大塚美侑（坂戸西）

●支部納射会

平成29年12月10日（日）日高アリーナ弓道場
参加109名

□4段までの部 ①大竹富美子（入間）②加藤則康（狭山）③吉田康宏（日高）

□5段以上の部 ①市川政子（入間）②坂東文（日高）③国分菊雄（日高）

●支部初射会（兼 昇段・昇格祝射会）

平成30年1月14日（日）日高アリーナ弓道場
参加117名

①安野雄次（小川）②岡部加代子（毛呂山）③上原秀明（入間）

●支部特別講習会（称号者）

平成29年9月17日（日）入間市武道館弓道場
参加24名 講師：市川政子教士

●女子講習会

平成29年9月30日（土）日高アリーナ弓道場
参加29名 講師：市川政子教士

●第4回支部講習会（4段以下）

平成30年2月4日（日）武道館弓道場
参加45名

講師：市川政子、畠田富男、水岡 勇各教士



画・松本 正

「弓師さんによる竹弓講座」開催

松伏弓道連盟 青木 陽太

昨年9月17日(日曜)に、松伏町にある緑の丘公園内レクリエーション室にて、弓師を講師に招き、竹弓の扱い方や見方などを教えて頂く『弓師さんによる竹弓講座』を松伏弓道連盟として開催しました。

講師には、ここ数年、当連盟会員の弓の面倒を見て頂いている、兵庫県姫路市の「播磨 竹禅」氏に遥々お越し頂きました。

播磨氏は弓具店には弓を卸さず、ご自身で使い手である弓引きと直接やり取りをし「弓引きと共に弓を育てる」を信条に、こだわりを持って竹弓の製作されている弓師さんです。

当日は台風の近づく悪天候の中、県内外から総勢84名という予想を上回る多くの方に受講頂きました。

講座は、播磨氏の挨拶から午前の講座が始まり、実際に仕事で使われている鉋、金槌、竹くさび、張り台等の道具を並べ、竹削りと弓打ちの解説を交えながら実演頂きました。その後、希望者数名による弓打ち体験や、カーボン内蔵竹弓と純竹弓との違い、「荒村・中村・射手村」の説明、弓師が考える竹弓のポイントと見方など、実演を交えながらの講話を頂き、受講者の多くの質問にも、丁寧でわかりやすい回答を頂きました。

午後は、受講者が持参した竹弓を播磨氏に見て頂き、それぞれの弓の不具合や癖の矯正、村取りでの調整をその場で見せて頂きました。また、弓の状態にあった弦の張り方や弓の踏み方(矯正法)、鉋や小刀を使って額木や内竹・側木を削る村取りや火入れなどの、注意点やコツを実演してくださり、参加者全員、弓師さんの技ですぐさま良くなっていく弓の姿に驚き感動していました。

受講者からは、楽しく良い講座だったとの感想もたくさん頂き、気詰まりの無い和気あいあいとした雰囲気の中、無事に「竹弓講座」を終了することが出来ました。

今回の講座で竹弓の扱い方や矯正法は一回見ただけで覚えられるものではありませんが、普段から道具の状態に気を配り、見る目を育てることが大切なのだと知りました。受講された皆さんも同じ様に感じ、竹弓について考えるきっかけにしてもらえたならば、講座を開催した意義があったと思います。

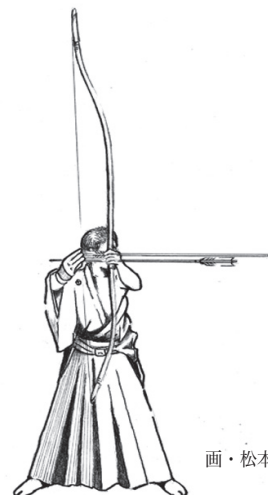
当連盟は道場の規模と会員数の問題から射会を開催する事が出来ず、いつも近隣の射会に参加をさせて頂いておりました。そんな中、播磨竹禅氏の「弓を育てられる弓引きを増やしたい」というお話を伺い、是非当連盟でその趣旨の会を開かせて頂きたいとお願いし、今回の講座開催となりました。

松伏弓道連盟主催の催しは、10年以上前に行なった当連盟会長谷口先生の昇段祝射会以来の事で、準備・運営等慣れない事で大変でしたが会員一同とても良い経験になりました。

今回講座が開催出来た事、ご多忙の中遥々松伏までお越し頂いた播磨 竹禅氏には心より感謝と御礼を申し上げます。



受講者に解説をしている播磨竹禅氏



画・松本 正

松沢範士の弓道講座 (第 10 回)

行射の留意事項

(特に上級者、称号者は心掛けて欲しい)

1. 執弓の姿勢

- ・弓と矢の角度はいつも同位置
立った姿勢、跪坐の姿勢、礼のとき
特に跪坐と礼の場合にずれる

2. 歩行

- ・後足の踵をあげないように
後足で進む気持ち
- ・正しい歩行は後ろ足が主役
- ・後ろ足を前に運ぶように歩き動かす

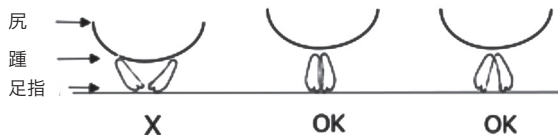
3. 開き足は 2 動作で

3 動作にならないように

4. 跪坐

- ・踵(カカト)とお尻は付けない
開けると背筋が伸びる
- ・膝を生かす努力を
- ・踵を揃える

◎跪坐の時のお尻と足裏(後ろから見た所)



5. 矢番え

- ・弓を立てる時に、下を見ない
- ・弦の返しは、腰の辺り(右手)
- ・できる限り矢は床と平行に保つ
- ・弓を持つ手の肘は下げない

6. 弓の捧持は

目通り、低い人多い

7. 足踏み 足の裏を床から空けない

足寄せ 体重を足に裏に感じる

8. 取りかけ

おはさみ方式はダメ 鷲の口ばし

9. 縦線に注意

三重十文字 つぶれる人あり

10. 目づかい 体は直、目線のみ

立った姿勢 4m 先、跪坐 2m 先

11. 物見

- ・目使いは筈に始まり、筈に終わる
その時、弓手うごく人多し 注意

12. 息合い

- ・一動作一呼吸の定着
動作しているとき吸気、
止まったとき吐気
- ・腹力で行なう

13. 打起し

- ・円相 45 度の高さ 肘であげる

14. 大三

- ・勝手は折るだけで引かない
七三の手の内

15. 会の作り

- ・伸合いは下筋を使う
- ・会の条件
 1. 頬付け
 2. 胸弦
 3. 的付
 4. 矢尺
 5. 三重十文字
 6. 詰と伸び
- ・手の内は柔らかく 目安 6 秒

会の心境 心身合一

『この秋は水か嵐か知らねども
ただひたすらに田の草を取る』

16. 離れは胸割り

射法訓の確認、離れの右手軽く
早気は駄目

17. 退場礼の目使い

対象物を見る

18. 甲矢の的中で喜ばない(正射正中)

束中で始めて喜ぶ

19. 練習の厳正化 正射の基本を守る

立射は避けたい



※1. 見取り稽古 — 見て正射の工夫
※2. スキのない構え — ミスを出さない
※3. どのランクに居るのか、手がかりの方法
として審査・大会がある。